

報道関係 各位

2018年4月22日  
株式会社日本レースプロモーション

4月21日(土)～22日(日)  
「2018 NGK スパークプラグ 鈴鹿2&4 レース」  
2018年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 第1戦  
決勝結果速報

シーズン開幕戦、山本尚貴がポール・トゥ・ウインで完勝！

2018年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 第1戦 鈴鹿2&4大会の決勝レースが、三重県鈴鹿サーキット国際レーシングコース(1周5,807m)を51周、296.157kmで行われ、ポールポジションからスタートした山本尚貴(チーム・ムゲン)が好スタートを決め、優勝を飾りました。2位には、スタート12番手から徐々にポジションを上げた関口雄飛(イトウチュウエネクス チーム インパル)、3位には、野尻智紀(ドコモチームダンディライアンレーシング)が入りました。

全戦「2 スペックタイヤ制」導入となって初の今大会は、コンパウンドが柔らかくタイムが稼げるソフトタイヤと、コンパウンドが固めのミディアムタイヤという性質の違う2種類のタイヤの使用が義務付けられ、上位グリッドのドライバーはミディアムタイヤを選択。関口を始めとした中段以降のドライバーの多くがソフトタイヤを選択した。トップからスタートした山本はそのままのポジションを守り、ソフトタイヤへの交換も無難に処理し、逃げ切りました。

ソフトでスタートした関口は、24周までソフトタイヤで引っ張りミディアムへ交換。ミディアムでもトップより1秒近く速いラップで追撃しますが、山本には一歩及びませんでした。野尻は、スタートで順位を落としましたが、タイヤを上手く使用して順位を回復、3位でチェッカーを受けました。

注目のルーキー福住仁嶺(チーム・ムゲン)は、健闘しましたが32周目にマシントラブルでリタイヤ。松下信治(ドコモチームダンディライアンレーシング)は12位、千代勝正(ビーマックス・レーシング・チーム)は14位、ピエトロ・フィッティパルディ(ウオモ スノコ チームルマン)16位となりました。

山本尚貴の優勝は、通算で4回目になります。

第2戦 オートポリス大会は、5月12日(土)に予選、13日(日)に決勝レースが開催されます。

\*記録の詳細は、別途添付公式通知「決勝正式結果表」をご参照ください。



シーズン開幕戦、ポール・トゥ・ウインの完戦を果たした山本尚貴(チーム・ムゲン)

### 公式予選

Q1 (20分間) 上位14台がQ2に進出。15～19位の順位が確定。

Q2 (7分間) 上位8台がQ3に進出。9～14位の順位が確定。

Q3 (7分間) 1～8位の順位が確定。

・セッションの間のインターバルは各10分

・ノックアウト方式の名称は、予選にて好タイムが出なければその場でノックアウト(脱落)されることから、この呼称となりました。

※Q1=ミディアムタイヤのみ使用可能。

※Q2、Q3=ソフトタイヤ、ミディアムタイヤの使用が可能。

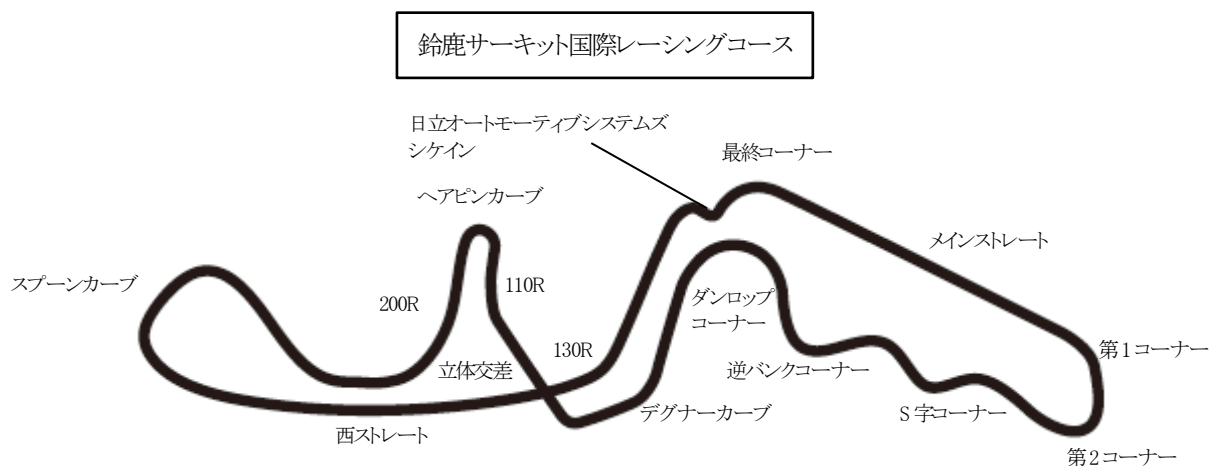
### 決勝レース

51周 1周:5.807km × 51周 = 296.157km

※決勝レースでは、ソフトタイヤ、ミディアムタイヤ、2種類の使用が義務付けられています。

### 鈴鹿サーキット国際レーシングコースについて

コースは東西に細長く、中間部分の立体交差をはさんで右回りと左回りが入れ替わる、世界的にも珍しい8の字形のレイアウトとなっています。コース全長は5.807kmで、日本のサーキットの中で最長です。コース幅は10～16m。コーナー数は18。最大高低差は52m。世界の多くのサーキットと比べ摩擦係数の高いアスファルト舗装です。土地の高低差と低速～高速コーナーのバランスが上手く配合されており、難易度が高く走り甲斐のあるコースとして評価されています。



2018年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 第1戦 エントリーリスト

2018年4月9日現在

Car No.	ドライバー名	生年月日	出身地	チーム名 (読み)	監督	エンジン
1	石浦 宏明 Hiroaki Ishiura	1981/ 4/23	日本/東京都	P.MU/CERUMO・INGING (ピーエムユーセルモインギング)	立川 祐路	TOYOTA R14A
2	国本 雄資 Yuji Kunimoto	1990/ 9/12	日本/神奈川県			
3	ニック・キャンディ Nick Cassidy	1994/ 8/19	ニュージーランド	KONDO RACING (コンドーレーシング)	近藤 真彦	TOYOTA R14A
4	山下 健太 Kenta Yamashita	1995/ 8/ 3	日本/千葉県			
5	野尻 智紀 Tomoki Nojiri	1989/ 9/15	日本/茨城県	DOCOMO TEAM DANDELION RACING (ドコモチームダンディライアンレーシング)	村岡 潔	HONDA HR-417E
6	松下 信治 Nobuharu Matsushita	1993/10/13	日本/埼玉県			
7	ピエトロ・フィッティパルディ Pietro Fittipaldi	1996/ 6/25	ブラジル	UOMO SUNOCO TEAM LEMANS (ウオモ スノコ チーム ルマン)	片岡 龍也	TOYOTA R14A
8	大嶋 和也 Kazuya Oshima	1987/ 4/30	日本/群馬県			
15	福住 仁嶺 Nirei Fukuzumi	1997/ 1/24	日本/徳島県	TEAM MUGEN (チーム・ムゲン)	手塚 長孝	HONDA HR-417E
16	山本 尚貴 Naoki Yamamoto	1988/ 7/11	日本/栃木県			
17	塚越 広大 Koudai Tsukakoshi	1986/11/20	日本/栃木県	REAL RACING (リアルレーシング)	金石 勝智	HONDA HR-417E
18	小林 可夢偉 Kamui Kobayashi	1986/ 9/13	日本/兵庫県	carrozzeria Team KCMG (カロッツェリア チーム ケーシーエムジー)	土居 隆二	TOYOTA R14A
19	関口 雄飛 Yuhi Sekiguchi	1987/12/29	日本/東京都	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL (イトウチュウエネクス チーム インバル)	星野 一義	TOYOTA R14A
20	平川 亮 Ryo Hirakawa	1994/ 3/ 7	日本/広島県			
36	中嶋 一貴 Kazuki Nakajima	1985/ 1/11	日本/愛知県	VANTELIN TEAM TOM'S (バンテリン チーム トムス)	館 信秀	TOYOTA R14A
37	ジェームス・ロシター James Rossiter	1983/ 8/25	イギリス			
50	千代 勝正 Katsumasa Chiyo	1986/ 12/ 9	日本/東京都	B-Max Racing team (ビーマックス・レーシング・チーム)	本山 哲	HONDA HR-417E
64	ナレイン・カーティケヤン Narain Karthikeyan	1977/ 1/14	インド	TCS NAKAJIMA RACING (ティーシーエス・ナカジマレーシング)	中嶋 悟	HONDA HR-417E
65	伊沢 拓也 Takuya Izawa	1984/ 6/ 1	日本/東京都			

ホンダエンジン使用チーム:5チーム8台  
トヨタエンジン使用チーム:6チーム11台

(車両: SF14、タイヤ: ヨコハマ)

## 2018年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 ポイントランキング

### ドライバーポイントランキング

順位	No.	ドライバー	ポイント	2018/4/21-22	2018/5/12-13	2018/5/26-27	2018/7/7-8	2018/8/18-19	2018/9/8-9	2018/10/27-28
				SUZUKA Rd.1	AUTOPOLIS Rd.2	SUGO Rd.3	FUJI Rd.4	MOTEGI Rd.5	OKAYAMA Rd.6	SUZUKA Rd.7
1	16	山本 尚貴 Naoki Yamamoto	11	<u>11</u>	0	0	0	0	0	0
2	19	関口 雄飛 Yuhi Sekiguchi	8	8	0	0	0	0	0	0
3	5	野尻 智紀 Tomoki Nojiri	6	6	0	0	0	0	0	0
4	1	石浦 宏明 Hiroaki Ishiura	5	5	0	0	0	0	0	0
5	65	伊沢 拓也 Takuya Izawa	4	4	0	0	0	0	0	0
6	17	塚越 広大 Koudai Tsukakoshi	3	3	0	0	0	0	0	0
7	3	ニック・キャシディ Nick Cassidy	2	2	0	0	0	0	0	0
8	36	中嶋 一貴 Kazuki Nakajima	1	1	0	0	0	0	0	0
9	4	山下 健太 Kenta Yamashita	0	0	0	0	0	0	0	0
10	18	小林 可夢偉 Kamui Kobayashi	0	0	0	0	0	0	0	0
11	37	J-ロシター James Rossiter	0	0	0	0	0	0	0	0
12	6	松下 信治 Nobuharu Matsushita	0	0	0	0	0	0	0	0
13	2	国本 雄貴 Yuji Kunimoto	0	0	0	0	0	0	0	0
14	50	千代 勝正 Katsumasa Chiyo	0	0	0	0	0	0	0	0
15	8	大嶋 和也 Kazuya Oshima	0	0	0	0	0	0	0	0
16	7	ピエトロ・フィッティパルディ Pietro Fittipaldi	0	0	0	0	0	0	0	0
17	64	ナレイン・カーディケヤン Narain Karthikeyan	0	0	0	0	0	0	0	0
	15	福住 仁嶺 Nirei Fukuzumi	0	0	0	0	0	0	0	0
	20	平川 亮 Ryo Hirakawa	0	0	0	0	0	0	0	0

\*表中ポイント数字の 太字：優勝 下線：予選ポールポジション

### チームポイントランキング

順位	No.	チーム	ポイント	2018/4/21-22	2018/5/12-13	2018/5/26-27	2018/7/7-8	2018/8/18-19	2018/9/8-9	2018/10/27-28
				SUZUKA Rd.1	AUTOPOLIS Rd.2	SUGO Rd.3	FUJI Rd.4	MOTEGI Rd.5	OKAYAMA Rd.6	SUZUKA Rd.7
1	15   16	TEAM MUGEN (チーム・ムゲン)	10	10	0	0	0	0	0	0
2	19   20	ITOCUJ ENEX TEAM IMPUL (イトウチュウエネクス チーム インバル)	8	8	0	0	0	0	0	0
3	5   6	DOCOMO TEAM DANDELION RACING (ドコモチームダンディライアンレーシング)	6	6	0	0	0	0	0	0
4	1   2	P.MU/CERUMO - INGING (ピーエムユーセルモインギング)	5	5	0	0	0	0	0	0
5	64   65	TCS NAKAJIMA RACING (ティーシーエス・ナカジマレーシング)	4	4	0	0	0	0	0	0
6	17	REAL RACING (リアルレーシング)	3	3	0	0	0	0	0	0
7	3   4	KONDO RACING (コンドーレーシング)	2	2	0	0	0	0	0	0
8	36   37	VANTELIN TEAM TOM'S (バンテリンチームトムス)	1	1	0	0	0	0	0	0
	7   8	UOMO SUNOCO TEAM LEMANS (ウオモスノコチームルマ)	0	0	0	0	0	0	0	0
	18	carrozzeria Team KCMG (カロツェリアチームケーシーエムジー)	0	0	0	0	0	0	0	0
	50	B-Max Racing team (ビーマックスレーシング・チーム)	0	0	0	0	0	0	0	0

\*表中ポイント数字の 太字：優勝

\*チームポイント：各チーム（エントリー）に所属するドライバーの獲得ポイントを合計。同一チーム（エントリー）に2台以上の車両が所属する場合は、上位2台が得点対象となる。チームポイントには、ポールポジションのポイントは与えられない。

## —開催概要—

- 大会名称 : 2018 NGK スパークプラグ 鈴鹿 2&4 レース  
2018 年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 第1戦
- 開催日程 : 2018年4月21日(土) 公式予選  
2018年4月22日(日) 決勝レース
- 開催サーキット : 鈴鹿サーキット国際レーシングコース(1周 5.807km)
- 主催 : グループ・オブ・スピードスポーツ(GSS)  
鈴鹿モータースポーツクラブ(SMSC)  
株式会社モビリティランド
- 公認 : 国際自動車連盟(FIA)  
一般社団法人日本自動車連盟(JAF)
- 認定 : 株式会社日本レースプロモーション(JRP)
- 後援 : スポーツ庁／観光庁／三重県／鈴鹿市／鈴鹿F1日本グランプリ地域活性化協議会／一般社団法人  
鈴鹿市観光協会／鈴鹿商工会議所
- 同日開催 : 2018 MFJ 全日本ロードレース選手権シリーズ 第2戦  
“コカ・コーラ”鈴鹿 8 耐 出場選抜レース 8 耐トライアウト 2nd ステージ  
2018 年 全日本フォーミュラ3 選手権 第1戦 & 第2戦  
2018 N-ONE OWNER'S CUP Rd.4

## 【TV放映予定】

### ■ BSフジ 決勝戦生中継『2018スーパーフォーミュラ第1戦 鈴鹿』

番組では現地の臨場感をそのままお届けします。実況はピエール北川による場内実況がサーキットの臨場感をそのまま伝え、ピットの緊迫とした状況をレーシングドライバー 松田次生と、東(ひがし)美樹がピットレポートを行います。今大会は、解説者に鈴木亜久里を迎え、鋭くまたわかりやすく解説をします。

○実況 : ピエール北川

○解説 : 鈴木亜久里

○ピットリポーター : 松田次生、東(ひがし)美樹

○放送時間 : 2018年4月22日(日) 18:00~19:55

### ■ BSフジ『スーパーフォーミュラ GO ON!』

SF14ラストイヤー、全戦2スเปックタイヤ制など話題が豊富な2018シーズンのレースダイジェストをレギュラーコメンター小林可夢偉とゲスト解説の松田次生がレースを分析。また、ゲストコメンターとして登場する現役ドライバーやチーム関係者、レース好きの著名人などと共にホットなニュースを深堀りします。

番組に華を添えるのは、進行を担当する本田朋子アナ。ナレーターは今年で番組3年目となる乃木坂46の樋口日奈が担当します。

《放送予定時間》

第1回 : 2018年 4月 7日(土) 23:00~23:55

2018年 4月 15日(日) 26:30~27:25(再放送)

### ■ J SPORTS

全7戦の予選と決勝の模様をライブ中継。再放送やレースダイジェスト番組もOALします。

詳しくは [jsports.co.jp](http://jsports.co.jp) をご参照ください。

第1戦 鈴鹿サーキット

予選 2018年 4月21日(土) 15:30~ J SPORTS 3 <生中継>

決勝 2018年 4月22日(日) 13:30~ J SPORTS 3 <生中継>

## 【映像の配信】

### ■ Yahoo! GYAO!

大会終了14日後よりスーパーフォーミュラの決勝レースを全戦オンデマンドにて無料配信。

※配信日時は変更となる場合があります。

<http://gyao.yahoo.co.jp/sports/>

### ■ YouTube

予選ならびに決勝の競技映像をダイジェスト版にて当日夜配信。

※配信日時は変更となる場合があります。詳しくは予選ならびに決勝日の夜、「スーパーフォーミュラ オフィシャルウェブサイト」でご確認ください。

superformulavideo-YouTube

<https://www.youtube.com/user/superformulavideo>

### 【海外配信/放送】

- motorsport.com (配信)
- motorsport.tv (放送)

### 【インターネット/SNS】

- オフィシャルWEBサイト  
<http://superformula.net>
- 公式LiveTimingアプリ  
iOS,Android 対応無料ライブタイミンングアプリ「SUPERFORMULA」で検索
- スーパーフォーミュラオフィシャルFacebook  
<https://www.facebook.com/superformula.official>
- スーパーフォーミュラオフィシャル Twitter #sformula  
[https://twitter.com/SUPER\\_FORMULA](https://twitter.com/SUPER_FORMULA)

### 【チケット情報】

- 前売観戦券(2日間有効) 遊園地モートピアパスポート1日券付  
大人 : 4,000 円/中高生:4,000 円  
小学生 : 3,100 円/3歳~未就学児:2,000 円  
※ 4月20日(金)も入場可
- 前売観戦券(2日間有効) レース観戦のみ  
大人 : 4,000 円/中高生:1,700 円  
小学生 : 800 円/3歳~未就学児:600 円  
※4月20日(金)も入場可
- グループチケット(2日間有効) 遊園地モートピアパスポート1日券付  
3名 : 10,800 円 (1名あたり3,600 円)  
4名 : 13,600 円 (1名あたり3,400 円)  
5名 : 16,000 円 (1名あたり3,200 円)  
※4月20日(金)も入場可  
※前売りのみの販売
- パドックパス  
中学生以上 : 7,200 円/3歳~小学生:2,000 円  
※別途観戦券が必要です  
※ホスピタリティラウンジ(ピットビル2階)にはご入場いただけません。  
※前売で完売の場合、当日パドックパスは販売いたしません。

●ピットウォーク券

中学生以上：2,100円(各日)／3歳～小学生：無料

※別途観戦券が必要です

※前売で完売の場合、当日ピットウォーク券は販売いたしません

※ピットウォーク時に、傘、脚立のお持込はご遠慮ください

※小学生以下のお客様の入場には中学生以上の方の同伴が必要です

※お子様は迷子にご注意ください

※ピットウォークは、予告なく時間の変更・中止になる場合がございます

レースチケットのご案内 (<http://www.suzukacircuit.jp/superformula/ticket/index.html>)をご参照ください。

\*この件に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

株式会社日本レースプロモーション (<http://www.superformula.net/>)

102-0074 東京都千代田区九段南 2-3-25 平安堂ビル

e-mail: [media@superformula.net](mailto:media@superformula.net)

Tel:03-3237-0131 Fax:03-3237-0135





NGK SPARK PLUGS

SUZUKA 2&amp;4 RACE



N-ONE

OWNER'S CUP

予選 SAT 決勝 SUN  
**4/21・22**

2018-04-22 16:15

WEATHER: Fine

COURSE: Dry

NGK SPARK PLUGS SUZUKA 2&amp;4 RACE

2018年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 開幕戦 鈴鹿サーキット

SUPER FORMULA

No 18

国際レーシングコース 5.807km

## 決勝正式結果表

Pos.	No.	Driver	Type	Team	Laps	Total Time	Delay	Gap	Best
1	16	Naoki Yamamoto	Honda HR-417E	TEAM MUGEN SF14	51	1:29'25.365	198.71km/h		1'42.678
2	19	Yuhi Sekiguchi	TOYOTA R14A	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF14	51	1:29'27.085	1.720	1.720	1'42.803
3	5	Tomoki Nojiri	Honda HR-417E	DOCOMO DANDELION M5S SF14	51	1:29'39.082	13.717	11.997	1'43.197
4	1	Hiroaki Ishiura	TOYOTA R14A	JMS P.MU/CERUMO・INGING SF14	51	1:29'41.246	15.881	2.164	1'42.543
5	65	Takuya Izawa	Honda HR-417E	TCS NAKAJIMA RACING SF14	51	1:29'56.272	30.907	15.026	1'43.890
6	17	Koudai Tsukakoshi	Honda HR-417E	REAL SF14	51	1:29'56.650	31.285	0.378	1'42.360
7	3	Nick Cassidy	TOYOTA R14A	ORIENTALBIO KONDO SF14	51	1:29'57.940	32.575	1.290	1'43.797
8	36	Kazuki Nakajima	TOYOTA R14A	VANTELIN KOWA TOM'S SF14	51	1:30'06.832	41.467	8.892	1'43.847
9	4	Kenta Yamashita	TOYOTA R14A	ORIENTALBIO KONDO SF14	51	1:30'10.792	45.427	3.960	1'43.261
10	18	Kamui Kobayashi	TOYOTA R14A	KCMG Elyse SF14	51	1:30'12.987	47.622	2.195	1'44.204
11	37	James Rossiter	TOYOTA R14A	VANTELIN KOWA TOM'S SF14	51	1:30'14.725	49.360	1.738	1'42.235
12	6	Nobuharu Matsushita	Honda HR-417E	DOCOMO DANDELION M6Y SF14	51	1:30'15.535	50.170	0.810	1'44.182
13	2	Yuji Kunimoto	TOYOTA R14A	JMS P.MU/CERUMO・INGING SF14	51	1:30'35.845	1'10.480	20.310	1'43.992
14	50	Katsumasa Chiyo	Honda HR-417E	B-Max Racing SF14	51	1:30'38.552	1'13.187	2.707	1'44.408
15	8	Kazuya Oshima	TOYOTA R14A	UOMO SUNOCO SF14	51	1:30'54.702	1'29.337	16.150	1'44.429
16	7	Pietro Fittipaldi	TOYOTA R14A	UOMO SUNOCO SF14	50	1:30'57.304	1Lap	1Lap	1'44.944
17	64	Narain Karthikeyan	Honda HR-417E	TCS NAKAJIMA RACING SF14	48	1:30'53.274	3Laps	2Laps	1'43.702
以上 規定周回数完走:									
	15	Nirei Fukuzumi	Honda HR-417E	TEAM MUGEN SF14	32	58'24.576	19Laps	16Laps	1'43.011
	20	Ryo Hirakawa	TOYOTA R14A	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF14	24	42'41.258	27Laps	8Laps	1'43.578

開始時刻: 13:54'18

終了時刻: 15:23'43

レース中のベストタイムは No. 37 James Rossiter VANTELIN KOWA TOM'S SF14 1'42.235 34/51 204.48km/h

規定周回数 45

ペナルティ

No. 20 次参加大会での 3グリッド降格 (全日本スーパーフォーミュラ選手権統一規則 第15条1.1) (危険なドライブ行為)

計時委員長: Hirohito HAYASHI

競技長: Hiroshi MATSUMOTO

審査委員長: Takashi MITARASHI

林 裕人

松本 洋

御米 光秀



SUZUKA CIRCUIT